

訂正

令和7年7月4日

報道機関各位

青森県選挙管理委員会事務局

青森大学・参院選プロジェクト2025 成果報告会開催のお知らせ

このことについて、県選挙管理委員会が協力している青森大学・参院選プロジェクト2025において実施した若者の政治や選挙に対する意識調査の成果報告会を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

- 開催日時 令和7年7月9日（水） 13:00～14:30
- 開催場所 青森大学3号館 誤：340教室
正：350教室
- 発表内容 ①青森大学の主権者教育の取組
②参院選プロジェクト2025について
－投票率向上の啓発活動および青森県選挙管理委員会との連携－
③青森大学生アンケートの結果（速報値）について
④青森山田高校生アンケートの結果（速報値）について
⑤その他
- 問い合わせ先 本件については、別紙記載の櫛引研究室へお問い合わせ下さい。

報道機関用提供資料	
担当課	青森県選挙管理委員会事務局
担当者	選挙グループ GM 高橋 昌広 主幹 畠山 裕太
電話番号	直通：017-734-9076 内線：5363、5366
事務局長	平尾 悠樹 内線：2110

【修正版】

2025年7月4日

青森県政記者会
会員者各位

青森大学 社会学部教授
キャリア特別実習コーディネーター
櫛引 素夫

青森大学・参院選プロジェクト 2025

成果報告会のお知らせ

キャリア特別実習・公開授業

本学は平素より、主権者教育の充実に努めております。7月3日公示、20日投開票される参議院議員選挙に向けて、青森県選挙管理委員会と密接に協力して、若者の投票率向上を目指す活動に取り組んで参りました。加えて、政治や選挙に対する関心の低さが指摘される若者たちについて、その意識や背景、政治・選挙への思いを明らかにするため、6月から7月にかけてアンケートを実施しております。

(大学生アンケートは回答を受付中ですが、500件近い回答が集まっています。半数を超える人が「投票に行く」と決めており、また、同じく半数以上が「自分が投票すれば世の中は変わる」と考えています。また、最も関心の高い政策は「就職・賃金・雇用」です。他方、投票率の低さが指摘されている若者について、責任すべてを若者に帰すべきではないことを示唆するデータも得られつつあります)

これら一連の活動の成果および途中経過を、本学の授業「キャリア特別実習」の公開授業として報告します。ぜひご高覧を賜り、選挙報道の参考にしてくださるよう、お誘い申し上げます。

記

日時：7月9日(水) 13:00～14:30

場所：青森大学3号館・350教室

内容：①青森大学の主権者教育の取り組み

②参院選プロジェクト2025について

－投票率向上の啓発活動および青森県選挙管理委員会との連携

③青森大学生アンケートの結果(速報値)について

④青森山田高校生アンケートの結果(速報値)について

⑤その他

主催：青森大学社会学部・櫛引研究室

協力：青森大学附属総合研究所

以上

☆青森大学・「参院選プロジェクト2025」ページ

https://www.aomori-u.ac.jp/20250702_02/

☆本件に関するお問い合わせ先：

青森大学社会学部 櫛引 素夫

〒030-0943 青森市幸畑2-3-1 青森大学社会学部

電話：017-738-2001(内線731) ファクス 017-738-0143

メール：kushibiki@aomori-u.ac.jp

「参院選プロジェクト 2025」について

キャリア特別実習コーディネーター

社会学部 榎引 素夫

▽プロジェクトの趣旨

2025年7月に投開票が予定されている参議院議員選挙に際して、本学独自の主権者教育と投票啓発活動を展開し、「学生中心の大学」「地域とともに生きる大学」そして「学生が輝く大学」としての姿と価値を確認するとともに地域社会への貢献を通じて、学生の「3つの力」の向上と大学のブランド力の浸透および学生募集の進展を図る。参画する学生は、キャリア特別実習Ⅰ～Ⅳ（青森・むつキャンパスの合同授業）の履修者と榎引ゼミの学生、合わせて約100人である。

▽本学の主権者教育の経緯

本学は、特に2016年の18歳選挙権施行後、主権者教育の充実に取り組んできた。

2022年には、キャリア特別実習履修者と榎引ゼミの学生が中心となり、NHK青森との要請による「参院選プロジェクト2022」を展開した。全学の学生を対象にしたアンケート、および学生とNHK記者の対話などを軸にした活動が、NHK青森の参院選特集コーナーでオンエアされた。また、アンケートによって、学生の投票行動が周囲の大人によって大きく左右されていることを示唆するデータなどが得られ、その成果は青森大学附属総合研究所紀要に研究ノートとして掲載された（一連の活動は、同年度の青森大学地域貢献賞・最優秀賞に選ばれた）。

翌2023年には、同じキャリア特別実習履修者と榎引ゼミの学生が、キャリア特別実習の公開授業として開かれた若者向けの選挙啓発活動「ヤングフォーラム2023」（青森県選挙管理委員会・青森県明るい選挙推進協議会主催）の運営に携わった。全学アンケートや県議・市議インタビューを通じて、主権者教育や議員自身のネット・SNS発信の強化の重要性が明らかになった。

さらに2024年には、キャリア特別実習の特別授業として、青森市選挙管理委員会事務局と学生の「車座トーク」、および青森市議会議員主催の「市議とカダる会」を実施した。これらを通じて、模擬投票およびその実施報告のネット公開の重要性、中学・高校・大学を通じた主権者教育の必要性、市議会と学生が恒常的に意見交換できる場の創出の可能性が論じられた。

▽参院選プロジェクト2025の概要

（1）経緯

2024年度末に青森県選挙管理委員会から、2025年度の参院選について、啓発活動に関する協働の打診があった。これまでの経緯を踏まえて意見交換を重ねた結果、キャリア特別実習と榎引ゼミを舞台に、希望者をコアメンバーとして、過去と同等以上の実践を行う方針を確認した。その後、NHK青森から、2022年と同様のコラボの要請があり、積極的に意見交換しながら、プロジェクトを進めていくことになった。

2025年度早々に、両授業でプロジェクト展開を告知したところ、参加を希望する学生が集まり始め、5月7日には県選管の担当者を招いての講話と対話を行った。この様子は青森テレビのニュースで報じられた。最終的には、青森・むつ両キャンパスから、17人のコアメンバーに加え、3人のサポーターが集まった。

(2) 具体的な活動予定

コアメンバーの意見を集約した結果、従来の学内アンケートに加え、投票行動のベースが固まる高校生の状況を確認する必要との声が上がった。そこで、系列校である青森山田高校を対象にアンケート実施を検討することになった。さらに、コアメンバーの1人が、母校である青森県立大湊高校での実施を提案したため、実現の可能性を探ることになった。学内アンケートは2022年のプロジェクトに準じる内容とする。また、高校生アンケートの詳細は、高校側と相談して調整・修正する方針である。

さらに、対外的な活動のメインとして、特に若者に投票を呼び掛けるポスターを作成することになった。無事に完成すれば、県選挙管理委員会が印刷し、県内各所に掲示する運びとなっている。また、学生たちから募った、投票を呼び掛けるキャッチフレーズなどをコンテンツとして、動画を作成し、大学が運用するSNSのアカウントなどで発信する構想が浮上している。

このほか、県選管が実施を予定している街頭での啓発活動にも、学生たちが協力する方針である。街頭での活動は当初、青森・弘前・八戸の3市で実施予定だったが、むつキャンパスの学生からも参加の要望があり、県選管の計らいによって、むつ市選挙管理委員会との連携が実現する可能性が出てきた。さらに、むつキャンパスの学生の1人が、実家が経営するバッティングセンターでの市民アンケートを計画しており、むつ市選管の協力を得ての実施を目指す（項目・内容は大学生アンケートに準じる）。

なお、学内アンケートの対象は青森・むつキャンパスの有権者を想定しているが、留学生を疎外しないよう質問項目を工夫し、回答自体は留学生にも参加してもらおう予定である（集計時に留学生と区別する）。また、アンケートへの協力要請活動は投票啓発活動を兼ねる形とし、上記の県選管向けポスターとは別に、アンケート協力要請ポスター／チラシを制作して配付・掲示予定である。

以上の活動全般について、7月9日（水）にキャリア特別実習で公開特別授業を実施し、概要を広く紹介する。

(3) 活動スケジュール（予定・変更の可能性あり）

- ・6月9日～13日：青森山田高校および大湊高校への協力要請
：社会学部倫理委員会にアンケートの倫理審査を申請
- ・6月23日：学内アンケート開始
- ・7月3日：学内アンケート終了
- ※6月23日～7月4日：高校アンケート実施
- ・7月上旬：むつ市で「バッティングセンター・アンケート」実施
- ・6月30日～7月4日：アンケート集計・分析
- ・7月9日：参院選プロジェクト・公開特別授業（アンケートの概要およびプロジェクトの活動報告）
- ・7月9日以降：大学ホームページで活動報告
- ・7月12日：県選管啓発活動（イオンモール下田）
- ・7月13日：県選管啓発活動（弘前市・ヒロコ）
- ・7月15日：県選管啓発活動（サンロード青森）
- ・9月末：青森大学附属総合研究所「総研だより」で活動報告
- ・9月末または3月末：総研紀要に研究ノートまたは研究報告として結果を公表

(4) 参考文献

・青森大学生は 2022 年参院選をどうみたか－NHK 青森との協働による学生アンケートと授業実践から－
(2022 年・櫛引 素夫, 相坂 匠飛, 雷 霄峰, 石倉 翠聖, 工藤 康晴, 鈴木 流由, 三上 愛莉)
青森大学付属総合研究所紀要、24 巻 1 号 p.30-48

https://www.jstage.jst.go.jp/article/aomoriuniv/24/1/24_30/_article/-char/ja/

・【報告】若者の投票率向上をめぐる検証と対話 青森大学における「ヤングフォーラム 2023」の実践から
(2024 年・櫛引 素夫, 池田 修真, 大野 愛梨, 加藤 未宙, 木村 拓海, 高橋 優誠, 藤田 奏, 三浦 紗
綾, 山田 青空)

青森大学付属総合研究所紀要、25 巻 2 号 p.43-52

https://www.jstage.jst.go.jp/article/aomoriuniv/25/2/25_43/_article/-char/ja/

・NHK 青森と連携し「参院選プロジェクト」展開
(2022 年・櫛引素夫)

青森大学付属総合研究所・総研だより、第 4 巻第 1 号、p.6-8

https://www.aomori-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/総研だより4_1_20220704.pdf

・若者の投票率向上策探る「ヤングフォーラム」実施
(2023 年・櫛引素夫)

青森大学付属総合研究所・総研だより、第 5 巻第 3 号、p.19-20

<https://www.aomori-u.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2019/02/4f4e7173ab8ec7d82b169a2d69dab377.pdf>

以上

青森大学 参院選プロジェクト2025

報告会

7月9日13:00~
350教室

「選挙、
行っ
とく
？」



大学性・高校生アンケート結果／啓発活動